

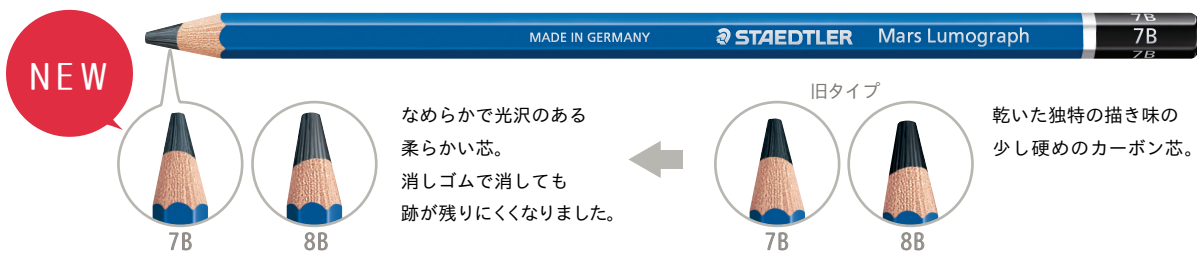
マルスルモグラフ 7B/8B

新旧徹底比較!



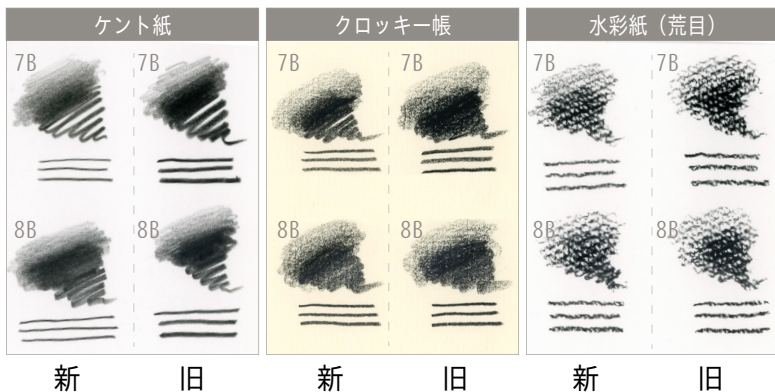
「マルスルモグラフ 製図用高級鉛筆」がこの度、16硬度から20硬度に拡大。
それに伴い、7B/8Bの芯が生まれ変わります。

2017年5月下旬に新硬度4種が追加発売となるタイミングで7Bと8Bが新しくなります。「マルスルモグラフ 製図用高級鉛筆」の7Bと8Bはこれまでマットな仕上がりのカーボン芯でした。新7B/8Bには滑らかな描き味で光沢のあるグラファイト芯が採用され、計20硬度のルモグラフがすべて同じ素材の芯に統一されます。これまで以上に黒の濃淡表現が自然に、一定のフィーリングで仕上げられるようになりました。



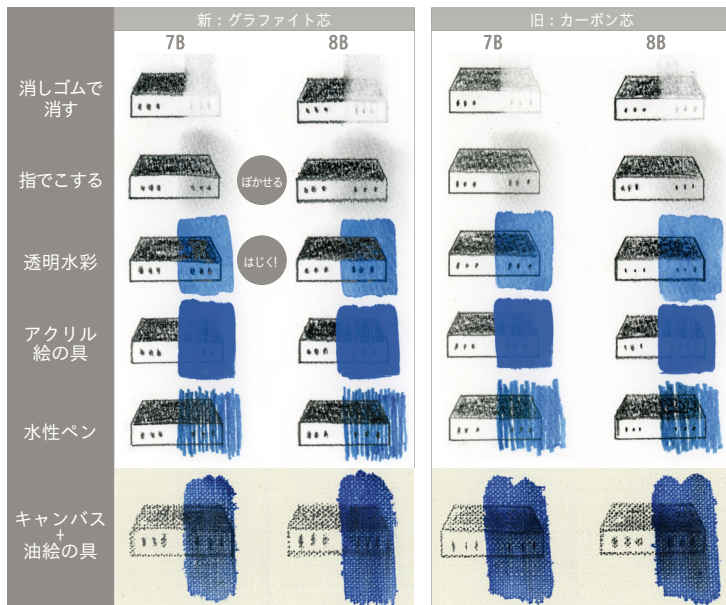
描く用紙によって表情が違う新旧比較

光沢のあるグラファイト芯の新7B/8Bは、光の反射で角度により明るく見えるのが特長。それに比べ、旧7B/8Bはマットで、濃く黒く見えます。



描いた部分に効果をプラス

新旧で圧倒的に違うのは描き味。描画ではさほど差がないものの、それぞれの芯の違いからこすった時と透明水彩を乗せた時に大きな違いが出ました。



グラファイト芯とカーボン芯
ぜひお試しください!
描きくらべると違いがわかります。

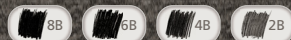


カーボン芯の
鉛筆はこちら!

マルスルモグラフ
ブラック
描画用高級鉛筆

カーボンを多く含み、
濃く黒くマットに
描くことができる
カーボン芯の鉛筆。

《全4硬度》



※7Bのカーボン芯は在庫限りで
終了となります。
お早めにお買い求め下さい。

※使用感は当社調べによるものです。

完成した作品の比較

グラファイト芯
新7B/8Bのみで描いたもの

やわらかなタッチで陰影をつけられるので
ふんわりとした仕上がりに。
強く塗り込むと角度によって光の反射が変わり、描いた
描き跡で表情をつけることもできます。
反面、固いモチーフなどを描くときは硬めの硬度(9H~B)を
併用する事をおすすめします。

カーボン芯
旧7B/8Bのみで描いたもの

カーボン素材の芯は描き味が硬めでメリハリの効いた
陰影が表現できます。しっかりとした黒さで硬度に
よる差も出しやすく、より深みのある仕上がりとります。
細かい部分もきっちり描き込めるのがカーボン芯の特長です。
マルスルモグラフ ブラック 描画用高級鉛筆(4硬度)が代替となります。

Mars Lumograph 7B/8B